

福南だより

校訓『勤勉 友愛 感謝』

第9号
令和8年1月8日発行
堺市立福泉南中学校
校長 中島 寛

AI時代を生き抜く力について

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、私たちの生活や社会は急速に変化しています。その中心にあるのが「AI（人工知能）」です。スマートフォンの音声認識や自動翻訳、さらには自動運転技術など、AIはすでに私たちの身近な存在となっています。これからの時代、AIはさらに進化し、仕事や生活のあらゆる場面で活用されることが予想されます。

では、AI時代を生き抜くために、子どもたちにどのような力が必要でしょうか。大きく三つの視点を挙げたいと思います。

①「情報を見極める力」

インターネットやSNSには膨大な情報があふれています。しかし、その中には誤った情報や偏った意見も含まれています。AIが生成する文章や画像も、必ずしも正確とは限りません。たとえば、最近話題の「生成AI」は、質問に答えたり文章を作ったりできますが、事実と異なる内容を含むこともあります。だからこそ、情報を鵜呑みにせず、根拠を確認し、自分で考える力が求められます。

②「創造する力」

AIは大量のデータを処理することに優れていますが、ゼロから新しい価値を生み出すのは人間の役割です。たとえば、AIを使って音楽やイラストを作ることができます。その「テーマ」や「表現方法」を決めるのは人間です。AIを道具として活用しながら、自分のアイデアを形にする力がますます重要になります。

③「協働する力」

AIを使いこなすには、人ととのコミュニケーションが不可欠です。異なる考えを尊重し、協力して課題を解決する力は、どんな時代でも価値を失いません。たとえば、企業ではAIを活用したデータ分析を行うチームがありますが、最終的な判断は人間同士の話し合いで決まります。身近なAI活用の事例として、次のようなものが挙げられます

- ・翻訳アプリ：海外の人と会話する際、AIがリアルタイムで翻訳してくれます。
- ・画像認識：病院ではAIがレントゲン写真を解析し、病気の発見を助けています。
- ・教育分野：AIが学習履歴を分析し、一人ひとりに合った問題を出す「個別最適化

学習」が進んでいます。

・自動運転：AIが交通状況を判断し、車の安全運転をサポートする技術です。

本校では、こうした力を育むために、ICTを活用した授業や探究的な学びを進めています。AIは「脅威」ではなく「道具」です。使い方次第で、子どもたちの可能性を大きく広げることができます。

新しい年も、子どもたちが未来に向かって力強く歩んでいけるよう、教職員一同、全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月行事予定表

		予定	給食		予定	給食
1	木	元日		17	土	PTA実行委員会
2	金	冬休み		18	日	
3	土	冬休み		19	月	一斉下校指導、ノークラブデー
4	日	冬休み		20	火	物品販売
5	月	冬休み		21	水	ノークラブデー
6	火	冬休み		22	木	
7	水	冬休み		23	金	2年保育体験当日
8	木	始業式	×	24	土	
9	金	午前中授業（1～4）	×	25	日	
10	土			26	月	3年学年末テスト① 諸費振替日、1・2年昼食後下校
11	日			27	火	3年学年末テスト②
12	月	成人の日		28	水	3年学年末テスト③
13	火	3年第3回学力診断テスト	1, 2, 3	29	木	
14	水	1年百人一首 1・2年大阪府チャレンジテスト	1, 2, 3	30	金	
15	木	専門委員会	1, 2, 3	31	土	
16	金	2年保育体験先訪問（PM）	1, 2, 3			

